



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

三世代防災体験会へ参加 ～家族で学ぶ防災体験～

2等海曹 山口 良明

自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所（所長・土屋2等陸尉）は、令和7年2月2日（日）前橋市城南公民館において、前橋市城南支所及び、前橋市城南地区青少年育成推進委員会の主催で実施された三世代防災体験会に参加しました。

当日は、前橋所長による防災講話を行い、災害に対する理解と防災意識の高揚を図りました。

防災講話終了後には、制服試着及び、第48普通科連隊による高機動車の展示や、記念撮影をしました。その後、ロープワーク、応急担架作成、VR体験を3グループに分けて行いました。

参加者からは、「災害に対する意識が変わった」、「過去におきた災害を風化させてはいけないと感じた」、「ロープワークと応急担架が勉強になった。」などの感想が聞かれました。

前橋募集案内所は、今後も広報活動を通じて、担当する地域とのつながりを構築するとともに自衛隊の理解と魅力の強化に努めていきます。



予備自衛官補の試験に夫婦でチャレンジ！ ～息子は高等工科大学へ進学～

並木 枝里子

予備自衛官補の試験に合格して、令和6年夫婦で予備自衛官補となりました。受験のきっかけは、息子が陸上自衛隊高等工科大学への進学を希望し、広報官の方から説明を受けた際に予備自衛官補制度の案内も受けました。予備自衛官補の試験に夫婦でチャレンジして息子と一緒に自衛隊について学んで、自衛隊の組織について知ることが出来ると思いました。また、自身の仕事を持ちながら自衛隊に従事する予備自衛官という役割があることを知り、看護職である自分の資格を生かし、自衛隊活動に協力していきたいと思っただけです。

令和6年1月にあった能登半島地震においては、隊員の方々の救助や支援の様子をTVやSNSで拝見しました。あらゆる方法で支援に向かう姿は心に響くものがあり、自衛隊に対して避難所の方々の笑顔と感謝の言葉が印象的でした。

人々の安全と日々の生活を守ることの大切さを痛感いたします。陸上自衛隊高等工科大学へ進学した息子は、慣れない寮生活と生活リズム、洗濯や掃除、自身の身の回りの環境整備もすべて自分自身で行わなければならない状況。親のいない環境でクラスメイトと助け合いながらの学校生活で慣れるまでは大変なこと多かったと思います。しかし帰省するたびに心身共に成長していく様子は、日々の努力の結果であり、親として大変誇らしく思います。息子の努力に恥じぬよう、親として精進し取り組んでまいります。年齢を重ねても新しい事へのチャレンジは刺激があり、自己の学びや世界を広げるチャンスであると思います。予備自衛官補となったことで自己に自信がもてるようになりました。そして、今まで培ってきた経験と知識を存分に活用し、これからの自衛隊活動へ少しでも貢献できるよう努力いたします。

